

地域貢献活動

「小学校低学年児童下校時 通学路安全見守り活動」

活動紹介



令和 5 年 5 月

公益社団法人
立川市シルバー人材センター

「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」 活動紹介冊子作製にあたり

会 長 越 川 康 行

立川市シルバー人材センターの地域貢献活動である「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」(通称「見守り活動」)は、各地で相次いで発生した小学生を被害者とする痛ましい事件を受けて、「子どもは地域の宝」との考えのもと、防犯と交通安全のために始めた活動です。

市内全域で「自分たちの地域の安全は自分たちで守る」ためのこの活動は、実施日数や参加人員の規模では全国に誇れる活動であり、地域班班長をはじめとした多くの会員の皆様の熱意と努力、積極的な参加協力により、長年にわたり継続してきていることは行政や地域からも高く評価され、センター事業の発展にも大いに貢献してきております。参加会員の皆様、またこれまで活動を支えていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

現在、当センター会員の平均年齢の上昇とともに、見守り活動参加会員の高齢化が進むなか、地域班の正副班長など特定の会員に参加が偏らない活動にしていくことが今後の活動の継続に必要であると感じており、より多くの会員に参加していただくことが不可欠であると考えております。

そのための取り組みとして、登録会員の皆様にお住いの地域での見守り活動がどのように行われているかをより一層知っていただき、参加へのきっかけづくりとするため、会報「シルバーだより」に2年間にわたり「見守り活動紹介」を掲載してまいりました。このたび全19校の見守り活動紹介の完結にあたり、掲載した内容を小冊子にまとめ、登録会員の皆様、新入会員の皆様、そして全19校の教職員・保護者会など関係機関の皆様に配付させていただくことといたしました。

立川市シルバー人材センターの地域貢献活動「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」が、安心の地域づくりに重要な活動であることを改めてご認識いただき、会員の皆様には活動への参加を、小学校をはじめ関係機関の皆様には活動へのご支援をお願い申し上げます。

シリーズ「見守り活動紹介」(会報「シルバーだより」第152号掲載)

シルバー人材センターは、高齢者の希望に応じて、臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し提供することを主な目的としています。それと同時にシルバー人材センターは「公益社団法人」に認定され、法律に基づき、「高齢者の福祉の増進」や「地域社会の健全な発展」などを目的とする事業を行う法人でもあります。公益社団法人に認定されることは、法人として高い社会的信用を得るとともに、税制面での優遇も得られています。それは会員の皆様に紹介する仕事を確保するためにもとても大事なことです。

公益社団法人としてのシルバー人材センターには、本来の事業である高齢者への就業機会の提供とともに、特定の者ではない多数の方の利益となる事業や活動を行うことが求められています。

【なぜセンターで見守り活動を実施するのか？】

見守り活動は、小学校児童の防犯を目的に、ある小学校のPTAからの要請がきっかけとなり、センターが地域に貢献できる最も効果的な活動であると考え、市内全小学校の通学路へと拡大していきました。以来17年余り、「オレンジのベストを着たシルバーさん」は子どもたちの安全・安心を見守りつづけているのです。

シルバー人材センターが地域貢献活動「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を行うのは、ひとえに公益社団法人としての役割を果たすためです。もちろん、地域に貢献する活動にはいろいろなものがあると思います。ただ、地域社会から求められる活動を行う、それを無償の活動として行うことは、より公益性の高い意義のあることではないでしょうか。そのような活動であるからこそ、会員として皆様に協力していただきたいのです。

【まずは「活動体験日」で活動を見てくださいませんか？】

会員の皆様は、入会説明会や新入会員研修会で見守り活動のことをお聞きになり、地域班班長との面談も済ませていると思います。ただ、いざ参加というところで不安を感じている方もいらっしゃると思います。そのような方のために原則毎月第3金曜日を活動体験日としています。まずは難しく考えず、活動を見に行ってみてください。

また、就業している皆様、仕事や日常生活で忙しくしておられるとは思いますが、まずは月1回、見守り活動参加の時間を作ってみてください。

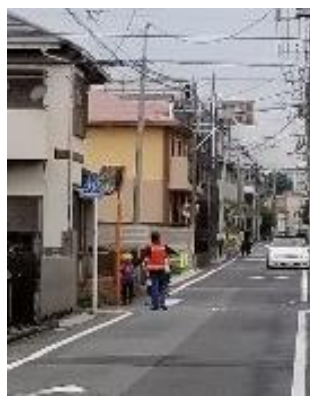
「学校ごとの活動紹介」

第一小学校 (令和3年7月発行 会報「シルバーだより」第153号掲載)

第一小学校は柴崎町地区班が担当しており、現在33名(男性26名、女性7名)が参加しています。参加会員の最高齢は88歳になりますが、ほぼ毎日参加して「見守り活動が生きがい」と話してくれています。他にも数名の会員が、ほぼ毎日参加しています。

活動形態は、コロナ以前は付き添いでしたが、昨年の2学期以降は定点見守り活動に変更し、学校から東西南北に5ヶ所の定位置を決めています。また、定位置ではなく自宅近くでの交差点での見守りに参加している会員もいらっしゃいます。参加会員は毎月参加可能な日を班長に連絡し、班長が担当日と場所・時間を表にして連絡することにしてしています。

第一小学校では、3学期に入ると、学校側の要請により、2年生になる準備として、自主的な下校を重視した隔日の活動に変更して実施しています。



〔班長からひとこと〕 柴崎町地区班班長

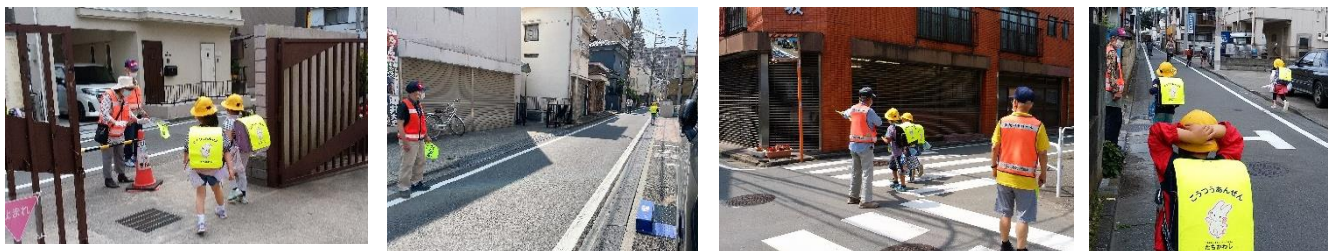
ほぼ毎日参加していただいている最高齢の会員の方には、頭が下がります。無理をしないで参加していただきたいと思っています。

未参加の方の中には、足腰に不安を感じる方も多く、参加を見合わせている方もいらっしゃると思います。定位置まで来られなくても、ご自宅近くの見守り活動に参加していただければと思っています。是非一度、ご相談ください。お待ちしております。

第二小学校 (令和4年7月発行 会報「シルバーだより」第157号掲載)

第二小学校は、曙町第1班と第2班、高松町・緑町第3班が担当しています。3つの班の活動参加人数は約45名で、1日平均10名前後が参加しています。

第二小学校の周囲は一方通行路が多く、また「シネマ通り」など車道・歩道とも狭いなかで車や自転車の通行量も多く、児童の登下校には危険箇所が多くなっています。見守り場所には、学校の校門前、周辺の十字路、競輪場付近など一方通行路の出入口、横断歩道などを設定しています。



活動参加者は、各班でローテーションを組んだり、就業やその他の都合に合わせて参加していただくことを基本としています。

〔班長からひとこと〕

曙町第1班班長

狭い路地など事故が起きないのが不思議なくらいですが、わたしたちが見守り活動している10年以上、事故に遭ったことはありません。日頃からの子どもたちへの注意喚起に気を使いながら、これからも児童が安心して通行できるよう会員の皆様の活動へのご協力をお願いします。

曙町第2班班長

会員の皆様、いつも早めにお集まりいただき感謝申し上げます。毎年感じるのですが、1年生の何とかかわいらしいこと！路上で「あ、シルバーのおじさんだ、いつもありがとう」と声をかけていただき嬉しいかぎりです。今年度の目標は、今まで参加されていない会員の方々に参加していただくことです。これからも子どもたちと地域の安全のために頑張ってください。

高松町・緑町第3班班長

見守り活動参加会員の皆様には、コロナ禍での見守り活動ありがとうございます。3年前に比べて活動参加者は若干減っております。早く以前の状態に戻り、多くの会員の皆様の見守り活動への参加を希望します。

児童の「さようなら」の元気な声、通行されている保護者、競輪場の交代警備員、交番勤務交代の警察官の皆様の「ご苦労様」の声がけに励まされています。

第三小学校 (令和4年12月発行 会報「シルバーだより」第158号掲載)

第三小学校は、錦町第1班が担当しています。現在の活動参加人数は約13名で、1日平均3～4名が参加しています。

第三小学校の周囲は南に一方通行路、北に幹線道路があり、交通量が多く、また歩道橋での道路横断が必要にもなっています。

見守り場所は、学校の南門とその先の交差点、北門で、南門は一方通行の道路に面しており、交通量が多く、児童が車道にはみださないように注視しています。

学校北側は生垣が続いており門の外が見えにくく、また北門の外は歩道



が狭い上に自転車の通行も多いことから、特に注意を払っています。

〔班長からひとこと〕 錦町第1班班長

寒い季節となり、また雨や雪で天候が悪い日がありますが、日頃から見守り活動に参加していただき、ありがとうございます。

コロナの第8波が心配されておりますが、ひとりでも多くの方に、月1～2回でも参加していただければと思います。ご協力をお願いいたします。



第四小学校 (令和5年1月発行 会報「シルバーだより」第159号掲載)

第四小学校は、富士見町第1班から第4班が担当しています。4班の会員数は合計で89名、活動参加人数は約30名で、1日平均5～6名程度が参加しています。

活動場所は、小学校周辺の信号のある交差点2ヶ所と信号のない交差点2ヶ所を中心に、当日の参加者数により配置場所を増やすなどして対応しています。

通学路の中では、道幅が狭く、双方通行の道路と一方通行路が交差しているのので、児童が道に広がらないようにするなど特に気をつけています。また、信号では、点滅したら児童を停止することに努めています。また、学校の指導が行き届いていることもあり、児童もしっかり点滅と同時に停止してくれています。



〔班長からひとこと〕

富士見町第1班班長

見守りの約10分前に集合して、雑談等しながら配置を決めて、気持ちよく見守りができるよう気をつけています。毎回ほぼ決まった方々の参加になっていますが、お互い協力して児童の安全確保及び成長を見守っています。いつも参加されている80歳台半ばの会員には、いつも元気をもらっています。

富士見町第2班班長

喜寿を超えた方々も多く、また女性の参加もあり皆様に感謝するばかりです。コロナ禍の中、誰一人感染せず多くの方々の参加をいただきありがたいことです。これからもご健康に気をつけていただき、皆様の見守り活動への



参加をお待ちしております。

富士見町第3班班長

要所要所に「ベストを着用し立つこと」でドライバーや市民にも「下校時間注意」をアピールできればと考えています。人的余裕があれば定点見守りだけではなく、「見回り活動」も有効かと思っておりますので、なるべく多くの方の参加をお待ちしております。

富士見町第4班班長

児童の安全を第一に考えて、見守りに携わらせていただいている。そして、会員との親睦も行われ、何気ない世間話や話し合いのできる場所としても考えている。「車が来るかもしれない・・・」「走って転ぶかもしれない・・・」危険がいつ起こるかわからない今、十分に気を張り見守りを行っている。

何よりも児童たちの挨拶にこちらも幸せな気分となり、力をもらっている。「ありがとうございます」「さようなら」大きな声での挨拶をもらい、体力のある限り児童たちが元気に大きく成長していくお手伝いのできたらと思っている。

第五小学校 (令和4年7月発行 会報「シルバーだより」第157号掲載)

第五小学校は、高松町・緑町第1班と第2班、栄町第2班が担当しています。3つの班の活動参加人数は約35名で、1日平均10名前後が参加しています。

高松町・緑町第1班は小学校周辺、第2班は北東側から芋窪街道、栄町第2班は芋窪街道を歩道橋等で渡る周辺を担当しています。

立川通り、高松バイパス、芋窪街道と交通量の多い幹線道路に囲まれており、交差点・横断歩道では事故が起きないように手旗と声がかけて見守っています。また、車やバイクの右左折・直進など気をつけなければならないことも多く、児童には一旦立ち止まってもらい、安全を確認してから横断歩道を渡ってもらうようにしています。

高松町・緑町第1班と第2班では、学校のポストに参加名簿を置かせてもらい、毎回参加者が記名した上で、見守り場所に向かっています。栄町第2班では、スマートフォンを持っている方とはグループLINEを活用し、活動スケジュールの配信など情報交換もしています。



〔班長からひとこと〕

高松町・緑町第1班班長

本年4月から班長を引き継ぎ、戸惑うことも多い中、見守り活動に参加してくださっている皆様には感謝申し上げます。見守り活動は、ご自分の体力と都合のつく範囲内で無理をなさらず継続して参加していただくことかまいません。まだ参加されていない方も、月に1度でも構いません。ひとりでも多くの方に参加していただけると幸いです。

高松町・緑町第2班班長

そろそろ1年生も慣れてくる頃で、道草しながらの下校となり、急に走り回る子、道いっばいに広がるなど注意喚起しながらの見守りをよろしくお願いします。要望としては、学校側との連絡方法を構築してほしいと思っています。会員の皆様には、健康に十分注意して無理をなさらずご参加をお願いします。

栄町第2班班長

現在、見守り活動をしている場所、それは見守り活動をしていないと交通安全上危険と思われる区域です。街道に信号があっても路地の出入口にある横断歩道には信号がなく、車やバイクの右左折・路地からの直進には、児童を停めて安全に通行してもらっています。今後も事故がないよう引き続き気を引き締めて見守り活動を続けたいと思っています。

第六小学校 (令和4年1月発行 会報「シルバーだより」第155号掲載)

第六小学校は、羽衣町第1班と第2班が担当しています。両班合わせて1日平均10名程度が参加しています。

羽衣町第1班と第2班の会員数は合計で72名、活動参加人数は約30名で、1日平均10名が参加しています。

平成31年度までは付き添い方式で自宅まで見送りしていましたが、令和2年度以降はコロナ禍の影響もあり、定点見守りに変更し、学校との話し合いで学校周辺の4ヶ所を重点に通学路の主要交差点など8ヶ所を見守り場所に設定しています。

活動は、1学期は毎日、2学期以降は週3日の活動としていて、参加者へは毎月20日頃までに参加希望日を記入する文書を配付し、25日頃役員が集約し、見守り活動参加者の一覧表と配置表を作成して参加者全員に配付しています。

最近では高齢の会員も増えていきますので、できるだけ参加者の自宅に近い場所で見守りができるように配置場所を設定しています。第六小学校の通学路は、スーパーが2店舗あり、またバス通りで交通量も多くなっています。特に交差点での事故防止に注



意し、「お帰り、気をつけて！」とひと声かけています。

〔班長からひとこと〕

羽衣町第1班班長

以前は、子どもたちと一緒に下校するのが楽しみでしたが、今は定点見守りとなり多少寂しくもあります。でも、駅で「シルバーさん、見守り活動続けられていますか、がんばってください。」

と高校生から挨拶され、子どものときの印象は全く思い出せませんが感激しました。見守り活動をこれからも続けないと、と思いました。



羽衣町第2班班長

コロナ禍により、従来のように学校に皆さんで集まることもなくなり、お話しする機会も少なく、この場をお借りして、参加者の皆様にお礼を申し上げます。

皆さん就業しながらの参加で大変でしょうが、私たちのベストを見て住民の方々から「ありがとう！」と声をかけていただくこともあり、地域のためにも少しずつですがお役にたっているのではないのでしょうか。毎年参加者が減ってきており、私たちの活動を見て、ひとりでも多くの参加者が増えてくれると嬉しいです。今後とも会員皆様のご協力をお願いいたします。

第七小学校 (令和4年12月発行 会報「シルバーだより」第158号掲載)

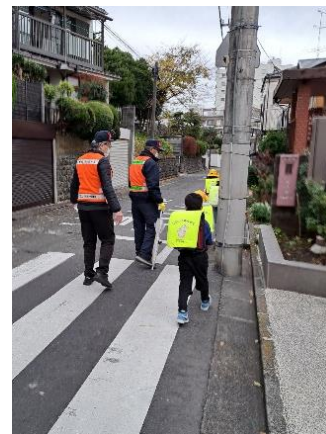
第七小学校は、錦町第2班が担当しています。現在の活動参加人数は約18名で、1日平均3～10名が参加しています。

児童の登下校としては、正門及び南門が利用されています。学校の周囲は、一方通行が多く車道・歩道とも狭いなかで、車や自転車の交通量もそこそこあり、安全には注意しています。

また、年度によっては、立川通りを渡る児童がいるので、横断を見守るのに気が抜けません。

七小は学年で一クラスしかないので、児童に途中まで同行する形をとっています。

日々の活動では、就業や自分の都合に合わせて、参加していただくことを基本としています。



〔班長からひとこと〕 錦町第2班班長

コロナ禍での見守り活動ありがとうございます。狭い道路が多いので、事故に遭わないように気をつけて活動していただきありがとうございます。活動に参加されている方が、少し固定されているような気がしますので、地域の子どもたちを見守るということで、少しでも多くの方の参加をお願いします。

第八小学校 (令和5年1月発行 会報「シルバーだより」第159号掲載)

第八小学校は、栄町第3班と第4班、幸町第1班が担当しています。3班合計の会員数は125名、参加会員数は77名で、1日平均5～6名が参加しています。

活動は、児童の下校に合わせて、栄町側が弁天通りや銀座通り、江の島道方向に付き添う形で、幸町側がすずかけ通り方面へと帰っていく児童に付き添いながら交差点で見守る形をとっています。

学校周辺の歩道や道路は狭く、路地も多くて見通しがよくない場所もあります。道路を突然横切ろうとしたり、話に夢中になったりふざけたりして道路にはみ出したりするので、車や自転車の通行時には特に声をかけるなど強く注意喚起をしています。

また、児童とは「さようなら」「給食全部食べた？」など声をかけたりしてコミュニケーションをとりながら楽しく活動できるよう心がけています。

〔班長からひとこと〕

栄町第3班班長

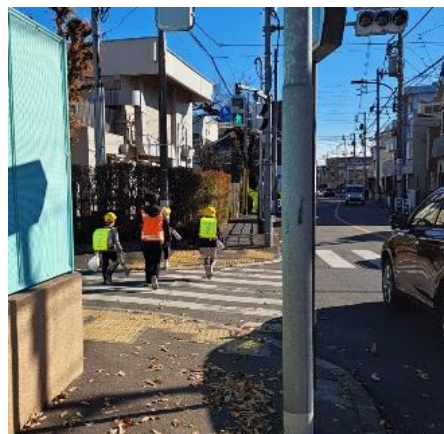
70歳・80歳と年をとり、体もだんだん衰えてきますが、体に気をつけて子どもたちを見守り続けましょう。

栄町第4班班長

毎月ご苦労さまです。行き帰りも含め事故に遭わないよう気をつけましょう。

幸町第1班班長

新入会員にも活動に参加していただいています。人数が不足しているため、見守りができない日がでてしまう月があります。月2回参加していただける方がもっと増えると、解消できると思いますのでよろしく願いいたします。



第九小学校

(令和4年7月発行 会報「シルバーだより」第157号掲載)

第九小学校は、砂川町第1班と上砂町地区班、一番町・西砂町第1班が担当しています。活動には、3班合わせて1日に約10名～15名が参加しています。

活動形態は、定点見守りと同行、砂川町方面は「ピンクコース」、上砂町方面は「みずいろコース」、一番町方面は「オレンジコース」、ピンクとみずいろは定点、オレンジは同行です。

小学校の周辺には五日市街道など交通量の多い幹線道路があり、「砂川三番」の交差点や2車線道路の長い横断歩道などは特に神経を使う場所になっています。



〔班長からひとこと〕

砂川町第1班班長

就業されていない方も積極的に参加いただいていることに、ただただ感謝するばかりです。地域の子どもたちが元気に登下校する姿に私たちも元気をもらっているようです。活動の集合場所で、近況を話し合ったりの雑談も楽しみのひとつになっています。



上砂町地区班副班長(第九小学校担当)

入学直後の初々しい新1年生も、夏秋冬と月を重ねるごとに逞しく成長していく姿は、ほほえましく思います。毎年3月の修了式頃には『感謝のことば』という葉が作られ、ひとりひとりが「お礼のことば」を我々に寄せてくれます。

「天気のわるい日も、みまもってくれてありがとうございました。体に気をつけて、がんばってください」とねぎらいの言葉とか、「新1年生も、ぼくたちみたいに、よろしくめんどろみってください」と兄貴ぶった頼もしい言葉も…



一番町・西砂町第1班班長

毎年恒例になっているようですが、3月末の1年生修了時、全児童から感謝状をいただきます。感謝のことばに、各児童思い思いの絵を描いてくれます。4月の入学時、何事につけてメソメソ泣いていた新入生が3月の修了時になると口のきき方もすっかり成長していて、感動する一コマもあります。

第十小学校

(令和4年12月発行 会報「シルバーだより」第158号掲載)

第十小学校は、柏町・泉町第1班と砂川町第2班が担当しています。活動には、2班合わせて42名の会員が参加し、1日に約5～7名が参加しています。

見守り場所は、学校の南の区域を柏町・泉町第1班が、北の区域を砂川町第2班が担当し、お互いに協力し合っています。

具体的には、南区域では学校南側の門前、「十小南」交差点、北区域では、すずかけ通りに入る角の横断歩道、ガソリンスタンド前の横断歩道、ファミリーレストラン前の交差点などいずれもすずかけ通りに接する横断歩道での定点見守りをしています。北区域では、定点見守りの後、子どもたちと同じ方向に帰る会員が家の近くまで同行する時もあります。

南区域では、南北道路の交差点は交通量も多く、北区域では、学校周辺の道路が南北道路への抜け道になっているたり、また、すずかけ通りに入る角での右左折が歩道側からの死角になっており、車や自転車との事故に遭わないように、特に気をつけています。



〔班長からひとこと〕

柏町・泉町第1班班長

見守り活動に参加していただいている皆様、いつもありがとうございます。十小には、数年前の学区変更により、泉町や緑町から通っている児童もいて、見守りをする範囲も広がっています。現在でもまだまだ目の届かない地点もありますので、ひとりでも多くの方に参加していただき、週1回程度参加していただければありがたいです。ご協力をお願いいたします。



砂川町第2班班長

日頃から、見守り活動にご参加いただいている会員の皆様には、深く感謝申し上げます。また、わが班は、遠方から参加くださっている会員の方が多く、ありがたく思っております。活動日は、事前に参加予定を班長に連絡していただいておりますが、参加が多い日と少ない日があります。特に金曜日は参加者が少ないことがよくありますので、参加してくださる方がいると助かります。

これからも、日本の未来を担う子どもたちの安心、安全のため、ご協力をよろしくお願いいたします。また、未参加の会員の皆様、月に1回でもよろしいので、是非ご参加ください。お待ちしております。

西砂小学校

(令和4年1月発行 会報「シルバーだより」第155号掲載)

西砂小学校は、一番町・西砂町第3班(一番町6丁目)と第4班(西砂町全域)が担当しています。

3班から8名、4班から15名が活動に参加していて、1日の平均参加人数は8～10名で、なかには毎月17～20日とほぼ毎日参加している方も数名いらっしゃいます。

西砂小学校は、年々新入学児童が増加しており、現在、市内で児童数が最も多い小学校です。また、西砂町は中央を五日市街道が東西に展開しており、約半数の児童が交通量の多い街道を登下校時に横断しています。そのため、交差点や横断歩道では、児童と車の接触など事故への緊張が高まります。定点での見守りに加え、児童の帰宅方向に同道する会員もいて、その途中の会話も楽しみとなっています。毎年3月には、1年生から見守り活動感謝のお手紙、上級生からは家庭科実習の作品をいただいています。



〔班長からひとこと〕

一番町・西砂町第4班班長

日頃から見守り活動に参加していただいている皆様に感謝申し上げます。西砂町は、立川市で面積が最も大きい町で、住宅や人口が増加傾向にあり、児童数も増加しています。

さまざまな方向に帰る子どもたちをしっかりと見守るためにも、より多くの方に見守り活動に参加していただきたいと願っています。

皆様のご理解とご参加をよろしくお願いたします。



南砂小学校

(令和3年7月発行 会報「シルバーだより」第153号掲載)

栄町第1班は男26名・女8名の計34名で、私たちだけで南砂小学校を担当しています。見守りのスタイルは当初から3地点での定点方式です。活動日は会員からの自己申告で決めています。

何人かが重なる日もあればひとり二人しかいない日もあり、そのような日は誰も立っていない地点が発生してしまい、当班の最大の課題です。

毎月、はじめに下校予定時刻が学校から班長に届き、それを会員に伝えます。それを見て会員は自分が参加できる日を班長に申告します。班長は会員別の見守り地点を決め、最終的に「見守り活動日程表」にまとめ全員に配付します。

また、当班では活動日に学校に寄ることはなく、会員は見守り地点に直行し、終了後そのまま帰宅します。それでも活動参加率は約 70%、特に女性は約 90%と非常に高くありがたく思っています。



〔班長からひとこと〕 栄町第 1 班班長

見守りには賛否含めていろいろなご意見があると思いますが、私は「見守りは事故防止より防犯に役立つ」と思っています。「地域の宝物といわれる子どもたちを暖かく見守る」「見返りを求めずにオレンジのベストを着た私達が要所要所に立っている」、そのことが意義ある活動だし、価値あることだと思っています。

会員の皆様方にはいろいろなご事情があるでしょうし、ご都合もあると思います。誰もいない地点をなくし、この活動を永く続けていくためにも、さらなるご協力をよろしくお願いいたします。

幸小学校 (令和 5 年 1 月発行 会報「シルバーだより」第 159 号掲載)

幸小学校は、幸町第 2 班が担当しています。

幸町第 2 班の会員数は 82 名、月に 1 回以上参加していただいている方は 50 名、1 日平均 12 名の方が参加しています。

活動場所は、東門 2 名、南門 1 名、西門 1 名が立ち、東門より学童保育所までの要所要所に 3～4 名が立っています。また南門からは平成新道の信号、西門からは玉川上水方面への帰る児童を見守っています。

東門から学童保育所への道路は一本道で見通しがよいが、そのほかは路地も多く、交差点での横断、狭い路地での自転車や車の通行、不審者にも気が配りながらの活動です。



〔班長からひとこと〕 幸町第2班班長

活動日には体育館前に集合、早い人は予定時間の50分位前に来ています。最近の出来事や地域の情報など見守り活動前にワイワイガヤガヤ・・・この時間が非常に大切な時間だと思っています。コロナ禍でレクリエーション等ができていませんが、これからはカラオケや花見等ができると思いますので、楽しく見守り活動ができるよう頑張ります。会員の皆様も、是非一度、体育館前に来てみてください。

松中小学校 (令和4年1月発行 会報「シルバーだより」第155号掲載)

松中小学校は、一番町・西砂町第1班(一番町1～3丁目)・第2班(4・5丁目)・第3班(6丁目)が担当しています。第1班はそのほかに第九小と大山小を担当し、第3班は西砂小も担当しています。

活動には、3班合わせて多い時には約20名が参加して、なかにはほぼ毎日参加している方も数名いらっしゃいます。現在は、5ヶ所の交差点での見守りと5つの



令和2年12月の活動体験日

コースのパトロールで実施していて、自分の健康状態で担当を選んでいただいています。参加者は開始と終了後の集合場所を同じ場所とし、パトロールが安全にできたことを確認しています。

松中小学校の周辺は五日市街道などの幹線道路、またそこから派生する住宅地の路地も多く、車や自転車の通行にも注意が必要となっています。

参加者の中には高齢の方も多いため、体調が悪そうな方がいないかなど目を配り、決して無理をしないようにしていただいています。

会員の方たちとの雑談の中では、「家にもつまらない」、「話し相手がない」、「運動不足だから」等々参加の理由もさまざまです。

またご家族からは「主人が見守りに参加してからとても明るくなった」、「友達や仲間ができたと喜んでいいる」、「主人に視野が広がった」、「見守りに参加することで生きがいを感じているようだ」など感謝の言葉をいただくことも少なくありません。



〔班長からひとこと〕

一番町・西砂町第1班副班長

日頃から見守り活動に参加していただいている皆様に感謝申し上げます。

交通量の多い通学路での1年生の見守りにはかなり神経を使います。学校との定期的な懇談の場を持つなど、より安全に見守り活動を行っていったらと思っています。

一番町・西砂町第2班班長

子どもの安全を見守ることはもちろんのことですが、会員それぞれが目的を持って心や気持ちにゆとりが出てくることは、違った面での意義ある見守り活動になるのではと考えます。オレンジのベストが少しでも抑止効果になれるようがんばっていきたいと思います。

一番町・西砂町第3班班長

参加していただいている方には大変ご苦勞をおかけしています。見守りを今後も長く続けていくには、健康であることが一番です。皆さんには体調管理を十分にいただき、無理せずに参加していただきたいと思っています。また、参加できる日には気分転換を図るためにも、より多くの方に参加していただきたいと思っていますので、よろしく願います。

大山小学校

(令和4年4月発行 会報「シルバーだより」第156号掲載)

大山小学校は、上砂町地区班と一番町・西砂町第1班が担当しています。活動には、2班合わせて1日に6～8名が参加しています。

上砂町地区班はA・B班が担当、参加者は23名、1日に3～5名が参加し、主に学校の東側と西側の区域を担当し、上砂会館など3ヶ所で活動しています。交通量が多い場所もあるので、青信号にかわった直後の児童の飛び出しに特に注意を払っています。

一番町・西砂町第1班の参加者は約15名、1日に3～4名が参加し主に学校の西側の区域を担当しています。西側地区は交差点が6ヶ所と多くあり、また交通量も多い「多摩大橋通り」も横断するため、特に車には注意しています。

見守り方法は、以前は付き添いでしたが、コロナ禍では「定点見守り」に変更しています。下校時間までに一度学校へ集まり、参加名簿にチェックを入れて、持ち場の交差点に向かいます。自由参加にしているので、日によって参加人数が偏ることが悩みです。



〔班長からひとこと〕

上砂町地区班班長

参加会員が1割程度ですので、参加促進の呼びかけを行っています。児童

の安全確保のためにひとりでも多くの方の参加をお待ちしています。

一番町・西砂町第1班副班長

昨年秋には、3年生から畑で作った「かぶ」と「かぶ」の料理レシピと、さらに感謝の作文をおひとりごといただきました。3年生になっても覚えてくれてうれしいかぎりです。シルバーの皆さん、これからも未来を開く子どもたちのために頑張りましょう。

柏小学校 (令和3年12月発行 会報「シルバーだより」第154号掲載)

柏小学校は、柏町・泉町第2班(柏町3～5丁目)と砂川町第3班(砂川町7丁目)が担当しています。

柏町・泉町第2班の活動

班の会員数は45名、活動参加者は22名、1日平均3～4名が参加しています。

活動場所は、学校正門前の横断歩道や玉川上水付近の交通量の多い交差点など4ヶ所を設定しています。

活動は、毎日、学校正門に集合してもらい、その日の責任者が見守り場所を指定するようになっていきます。活動参加が自主申告制になってからは、参加者がゼロという日は解消されましたが、日によっては参加人数が偏ってしまうこともあります。



砂川町第3班の活動

班の会員数は28名、活動参加者は15名、1日平均6名が参加しています。

見守り場所は、①西武拝島線踏切、②国立音大南西角交差点、③千寿橋、④砂川公園入口の4ヶ所を指定し、参加人数に応じて会員を配置しています。

活動の特徴としては、柏小学校周辺で活動する柏町・泉町第2班の見守りを引き継ぐ形での実施、参加形態は会員主体の自主参加で、参加実績は毎月の「見守り活動出欠表」提出により、班長が集計しています。

活動中、特に気をつけていることは、踏切に接続する交差点の横断、

狭い片側歩道での児童のはみ出し、玉川上水遊歩道や公園の不審者です。



〔班長からひとこと〕

柏町・泉町第2班班長

会員の高齢化により、私たちの班も参加できる方が減少しています。見守り活動を長く継続していくため、会員の皆様の協力が不可欠です。月に1回の参加でも構いませんので、参加をご検討いただければ幸いです。

砂川町第3班班長

暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も、日頃から地道にご参加いただいている会員の皆様には、心から感謝申し上げます。

我が班が担当する「柏っ子」は、みんな明るく元気で伸びやかです。「シルバーさん、今日のカレーお替りしたんだよー」と駆け寄ってくるのを見ると、オレンジのベストが小さい子どもたちにも信頼されているんだなーと感じます。

地域の宝であるこの子たちの見守りができる喜びを感じながら、毎日活動しています。参加を躊躇している会員の皆さん！いろいろな事情があると思いますが、この感動を共有しませんか？



上砂川小学校

(令和4年4月発行 会報「シルバーだより」第156号掲載)

上砂川小学校は、砂川町第4班と上砂町地区班が担当しています。活動には、2班合わせて1日に約10名が参加しています。

見守り場所は8ヶ所あり、2つの班で分担しています。砂川町第4班区域の通学路には、西武拝島線の踏切や交通量の多い幹線道路の交差点があり、見守り場所3ヶ所に、参加人数に応じてきめ細かな立ち位置を決めています。

上砂町地区班はD班が担当、道路幅の狭い農道や新築された住宅から通う不慣れな児童への対応に重点をおいています。

特に気をつけていることとしては、幹線道路では、車道側の縁石を歩く児童や、信号機の近辺で待ちきれなくて遊ぶ児童への注意喚起です。



〔班長からひとこと〕

砂川町第4班班長

児童の下校時間の数十分前にお集まりいただき、スポーツ、社会情勢、趣味等の談話で和気あいあい、また見守り活動の重要性を理解していただいていると思っています。遠くの親戚より



近くの他人(マイフレンド)として長く付き合いたいと思います。本当にありがとうございます。
今年度もよろしくお願いいたします。

上砂町地区班班長

気持ちよく参加していただけるよう心がけています。3月17日(木)の下校時には、1年生全員から絵手紙の贈呈と「感謝の言葉」を学校長のご指導のもといただきました。ひとりでも多くの方の参加をお待ちしています。



新生小学校 (令和4年4月発行 会報「シルバーだより」第156号掲載)

新生小学校は、富士見町第5班と第6班が担当しています。両班の会員数は合計で111名、活動参加人数は約75名で、1日平均9名が参加しています。

見守り場所には、学校周辺の交差点・横断歩道4ヶ所と新奥多摩街道にかかる歩道橋付近の計5ヶ所を設定しています。

活動参加者は「あらかじめ決めておいた曜日に参加する」ことを基本としながら、就業やその他の都合に合わせて「参加できるときに参加していただく」ことにして、各会員が毎月1～4回程度参加しています。

各曜日には責任者(見守りリーダー)がおり、学校に用意していただいた待機所に集合して、責任者が決めた担当場所で活動していただいています。



〔班長からひとこと〕

富士見町第5班班長

見守り活動へのご参加・ご協力ありがとうございます。新生小学校では3月に「感謝の集い」が開催され、学校からの感謝状と1年生の皆さんから心温まるメッセージをいただきました。

これからも地域の力が発揮できますよう、みんなで頑張りましょう。

富士見町第6班班長

日頃から見守り活動にご参加いただきあ



りがとうございます。おかげさまで順調に活動を続けることができます。これからも、ひとりでも多くの方々にご参加いただき、地域と学校が協力して児童の安全を守っていききたいと思います。

若葉台小学校 (令和3年12月発行 会報「シルバーだより」第154号掲載)

若葉台小学校は、けやき台小学校と若葉小学校が統合された新設校で、今年4月に新校舎が開校しています。見守り活動は、若葉町第1班と第2班が担当しています。

若葉町第1班の活動

旧けやき台小区域の若葉町1丁目・2丁目区域を担当しています。班の会員数は90名、活動には1日平均15～18名が参加しています。

活動場所は、区域内で大小の交差点を中心に10ヶ所の定点ポイントを設定しています。

活動の特徴としては、学校からの下校表は、見守り活動参加意思表示している班員に配付し、参加日の事前指定や希望日の設定調整等はせず、自由にいつでも参加可能なストレスの少ないオープンフリー方式で取り組んでいます。



若葉町第2班の活動

旧若葉小区域の若葉町3丁目・4丁目区域を担当しています。班の会員数は64名、活動参加者は約20名、1日平均5名が参加しています。

見守り場所は、若葉大通りの①旧若葉台小学校横交差点、②九中入口、③れんげ保育園前交差点の3ヶ所です。若葉大通りは、近年、小平方面からの車の通行量が格段に増加し、特に信号のない九中入口付近の横断歩道では、活動の参加者を増やしています。

また、当班の行事として、月3回、登校時の見守り活動を行っています。



〔班長からひとこと〕

若葉町第1班班長

過日、若葉台小学校サポーターズ主催の「見守りお礼の会」に代表して出席しました。そのなかで1年生が作っ

た文集をいただきましたので、一部を紹介します。

『シルバーさんへ いつもまもってくれてありがとう。あついと
きあめのときもさむいときもありがとう。いつもにこにこまも
ってくれてありがとう』—こんなのもらうともうがんばるしか
ないなあ～

参加人数や参加頻度の問題はありますが、先輩が作られた伝統や実績を維持しつつ永続的な活動につながるよう、班内の班長表彰制度を設けました。皆さんの取り組みはちゃんと見てますよ。

若葉町第2班班長

本年4月から班長となり、戸惑うことが多い中、皆様にはいつもご協力をいただき感謝申し上げます。

見守り活動は、ご自分の体力とご都合のつく範囲で参加をお願いします。班員の中には、毎日参加していただいている方もおり、ただただ頭が下がる思いです。今後とも永く継続して活動をするためにも、まずは健康で、決して無理をなさらずご協力をお願いいたします。

シリーズ「見守り活動紹介」掲載完結にあたり

総務部会長 神田 勇

令和3年7月発行の第153号に、1小と南砂小の紹介を掲載してから、今回の第159号をもって、全19校・地域班35班の「見守り活動紹介」の掲載を完結させていただきました。

まずは原稿を投稿していただきました各班長さんに厚くお礼申し上げます。

今後は、紹介した内容を小冊子にまとめ、4月から新学期を迎える全小学校へ配付させていただき、見守り活動へのご理解とご協力をお願いするとともに、新入会員研修会の資料としても活用し、新入会員の活動参加促進に努めていく所存です。

さて、「地域貢献活動」として市内全19校の小学校で実施しております「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」は、都内58のシルバー人材センターはもとより、全国的に見ても他に例のない立川市シルバー人材センター独自の活動である！と自負しております。また、この見守り活動は、平成16年度に開始し、令和6年度には20年の節目を迎えることになる、長く継続している価値ある活動でもあります。

現在未参加の会員の方々にも、見守り活動の趣旨をご理解いただき、活動への参加協力をお願い申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。

ご協力いただきました地域班班長の皆様

(敬称略)

地域班	担当校	班長氏名
富士見町第1班	第四小	小林 茂
富士見町第2班	第四小	吉武英二
富士見町第3班	第四小	高橋三朗
富士見町第4班	第四小	堤 敏雄
富士見町第5班	新生小	溝渕浩一
富士見町第6班	新生小	小林英夫
柴崎町地区班	第一小	田崎享秀
錦町第1班	第三小	白石 正
錦町第2班	第七小	成田敏克
羽衣町第1班	第六小	井上 修
羽衣町第2班	第六小	齋藤南海男
曙町第1班	第二小	大井邦彦
曙町第2班	第二小	橋本 登
高松町・緑町 第1班	第五小	高橋 茂
高松町・緑町 第2班	第五小	根本 実
高松町・緑町 第3班	第二小	荒井 英雄
栄町第1班	南砂小	三鴨征毅

班長は令和5年3月1日現在です。

地域班	担当校	班長氏名
栄町第2班	第五小	辻 優美
栄町第3班	第八小	井谷善雄
栄町第4班	第八小	長幡嘉捷
若葉町第1班	若葉台小	津田貢市
若葉町第2班	若葉台小	本間和吉
幸町第1班	第八小	遠藤 明
幸町第2班	幸小	逆井正和
柏町・泉町 第1班	第十小	中野和夫
柏町・泉町 第2班	柏小	篠崎一真
砂川町第1班	第九小	後藤 司
砂川町第2班	第十小	廣江勝巳
砂川町第3班	柏小	坂田正光
砂川町第4班	上砂川小	須永 茂
上砂町地区班	第九小 大山小 上砂川小	増田正三郎
一番町・西砂町 第1班	第九小 大山小 松中小	杉浦洋一
一番町・西砂町 第2班	松中小	大江美博
一番町・西砂町 第3班	松中小 西砂小	小倉康治
一番町・西砂町 第4班	西砂小	飯島美智夫

「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加状況

	登録会員数	参加者数	参加率(%)
令和3年度	1,492	769	51.5%

※ 登録会員数は調査時点の数です。

公益社団法人立川市シルバー人材センター 会 員 憲 章

平成20年10月1日制定

私たち会員は、「共働・共助」「自主・自立」の基本理念のもと その知識と経験を社会に役立て 地域社会のなかで健康で生きがいのある生活を営み 高齢社会に向けて豊で活力ある社会を目指して この憲章を定めます

私たちは

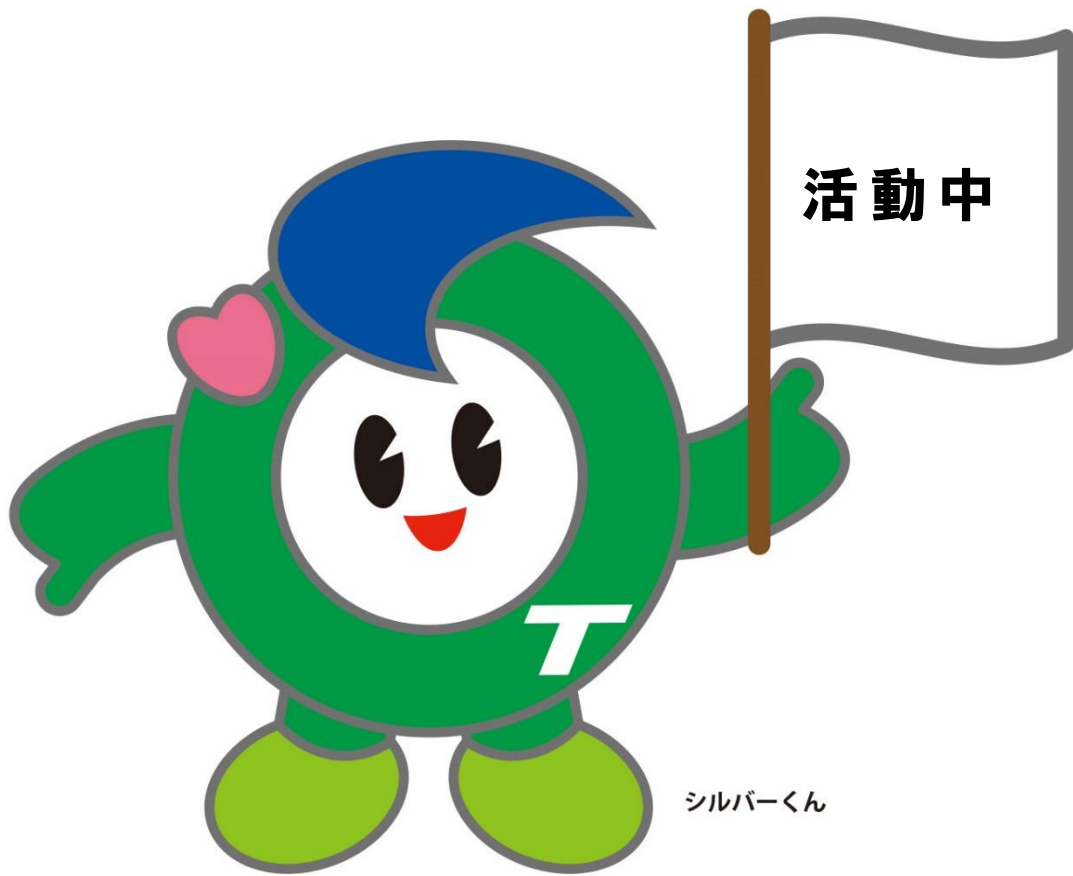
- 1 私たちのセンターを私たちが育てていきます
- 1 お互いに仲良く 助け合って働きます
- 1 経験と能力を活かし 一生懸命責任を持って仕事を行ないます
- 1 地域社会に貢献するセンターになるよう努力します
- 1 常に健康と安全を心がけていきます

「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加協力啓発方針

平成24年7月26日制定

公益社団法人としてのシルバー人材センターにおける真の公益目的事業とは、積極的かつ能動的に社会に貢献する事業であると考えます。このことから、当センターが「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を積極的かつ能動的に行う活動と位置づけ、会員の参加協力を求める方針を以下のとおり決定しました。

- 1 シルバー人材センターは、「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を主眼とする地域貢献活動を、センターの公益目的事業のうちの重要な活動と位置づけ、会員が積極的かつ能動的に行う社会貢献活動と定める。
- 2 シルバー人材センターは、就業会員に対して、确实かつ適正な就業を維持するとともに、センターの活動を通じた地域貢献を積極的に果たすことを求める。
- 3 シルバー人材センターは、地域班と職群班を地域貢献活動への会員の参加協力を啓発・推進する組織と位置づけ、積極的かつ組織的に活動することを求めるとともに、その活動を強力に支援する。



シルバーくん